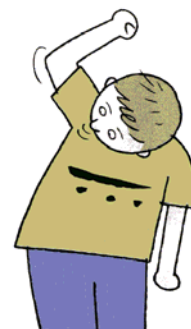


わきの下のおいの治療について

わきが

「わきが」とはわきの下がおい状態のことで、医学的には「腋臭症」といいます。西洋人ではほとんどの人にありますが、東洋人では少ないためかえって気になるようです。においの原因は、わきの下にかく汗です。なぜ、わきの下にかく汗は特ににおいのでしょうか。



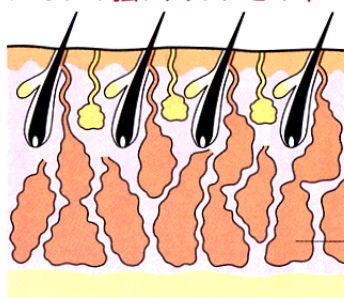
汗には2つの種類がある

汗を出す「汗腺」には、「エクリン腺」と「アポクリン腺」の2種類があります。エクリン腺は全身にあり、汗を分泌することで体温を調節する役割を担っています。一方のアポクリン腺は、わきの下や陰部、外耳道など、特定の部分にしかなく、精神的な緊張が強いときに汗を分泌します。アポクリン腺は、第2次性徴の際に発達するため、わきがが現れるのは思春期以降です。エクリン腺から出る汗はほとんどが水分ですが、アポクリン腺から出る汗には、たんぱく質や脂質、糖などが含まれています。これらの成分のうち、脂質が、皮膚の表面に住み着いている細菌によって分解されると、独特なおいのもととなる物質（低級脂肪酸）がつけられるのです。

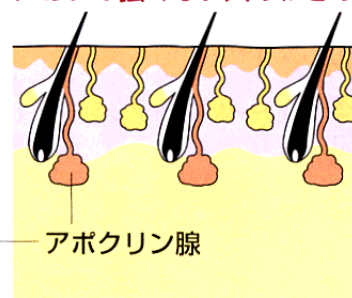
におう人とおわない人の違いは？

アポクリン腺は誰にでもあるものですが、におう人ではアポクリン腺の数が多く、1つ1つが大きくなっています。そのため、アポクリン腺から分泌される汗の量が多く、においが強くなるのです。耳あかが湿っていたり、服に黄色い汗染みができたりします。また、両親が腋臭症だと、その子供も腋臭症である可能性が高くなります。さらに腋臭症の人では、汗の量が多い「多汗症」を併せもっているケースも多く見られます。

においの強い人のわきの下

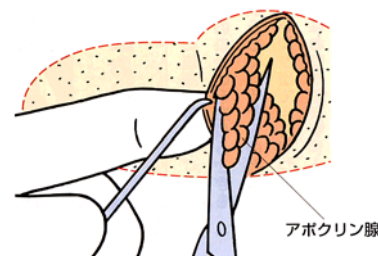


においの強くない人のわきの下



治療

スキンケアだけではにおいが抑えられない場合には、外科的な治療が行われます。もっともよく行われている手術の方法が、アポクリン腺をはさみで取り除く「**剪除法**」です。手術に要する時間は、片側で40分ほどです。両わきを同時に手術する場合には1泊2日の入院が必要です。アポクリン腺を取り除くことで、わきの下のおいを手術前よりも8割ほど減らすことができます。また、エクリン腺も少し取り除かれるので、汗も少なくなります。この手術には健康保険が適用されます。



◆治療に関してご希望・お問合せの方は **あさひ病院 形成外科** までご相談ください。
あさひ病院 形成外科 診察日：毎月第4金曜日 17時～19時（予約制）。
TEL:0568-85-0077